魂の衰弱

富士村格

私、亦理由を異にするものであり、論理の美しさを知つてゐる。論理をニ段論法の如く美しいと感じた。テニヲの整つた美文に好感を以て接むものである。けれども詩に於ては論理の手前から向ふ側へ通じてゐること、論理を根拠とするのは論理が詩の肝腎の間だるうこと、詩自體が論理に過ぎなくて、詩自體としては駄目だと、有難い講釈を拝聴することは本當は断さねばならぬ。詩人が詩作より先に詩論を振廻すことも感服出來ない。詩人が詩に關れるといふことも感服出來ないことである。作詩に没頭するのが怠らしいことである。作詩に没頭するのが怠らしいことである。作詩に没頭するのが怠らしい

二十萬の大敵に徹底的打撃を與ふ

山西南部で我が神速な戰果

【同濟特電九日發同盟通信社】晉北山西綏遠の聯邊は全く擧げて我軍に進しあらゆる困難を排除して黄河畔に殺到し敵を加へ今や一挙黄河を渡河に殲滅せんとしてゐる、既に五日朝石臣鎮附近にて八日の敵を殲滅した同鎮部隊は同日夕刻早くも河畔に殺到つゝある敵の一部と渡河に激戰を加へ更に一部は黄河左岸を全く制壓し敵の退路を扼して敵を山西省内

寫眞（上）臺灣神社に參拜した時局克服懇談會出席會員の一同　（下）講演會場

婦人のための 栄養常識と獻立（三）

中央合研究所
衛生部囑託　和田登喜子

併し、既に度々申し上げました通り、一品で完全榮養食と言うものはございません。否しろ、二品、三品と組合してさへ、個人差があるのが例でございます。去年、七分搗や、胚芽米は、從來の白米に比べては遙かに消化が悪いと言はれて居りますが、實際多くの榮養素が殘つて居りますので、私達はこの足りないものを副食物で補給しなくてはなりません。其處に、副食物の意義が重大となつて來るのでございます。

△

副食物には魚の種類も多く、各種の榮養素が色々の組合せで含まれてゐますから、これを適當に選擇して、種々の食品の組合せを考へて、合理的に攝取しなければなりません。

食物の量

日常生活は、食物の質といふ點については、無關心な人々が多くの點で心配し過ぎる人々よりも、寧ろ健康的であるとも言はれますが、實際の問題としては、やはり、ある程度の注意は必要でございます。最も、これが自然であるかもしれませんが、或にこの點を計つて參りますと、小さな誤解や、極端になることは愼しむべきでありません。

△

一般に日本人には胃腸病の人が多いのでございまして、從而、多量の食物を攝らぬと滿足が出來ないのでございます。淵しい胃腸病の人々は二升飯を一升飯にと、かういふ人々では却つて榮養上カルシと致しまして、量の御飯を攝らなければならないのでございますが、其外に力仕事に必要な動物の維持に一定量の蛋白質を必要とするので御飯量をその蛋白質の供給に求めることは、牧人の点から感謝にございますから、申しますと、良質には言へませぬが、米の中の蛋白質だけで、ともかくも、必要量を補つて行かうと致しますから一升餘をいただくことになります。

△

又日本人で、外國に長い間滯在して洋食に慣れて來ると、日本に歸つて和食に代へると、脚らは胃にもたれて困るといふことがあります。これと反對に、私が平常の大食の點を出して、洋食を一ぱいに攝らうといつまでも胃の

調理と獻立

調理方法の如何に依つて、消化の良いものも惡くなりますし、又惡いものも消化がよくなります。單り好かれないからにんじんを少しく煮んで御飯などに混ぜたり、ジャムをつくりますと、知らないうちに食べて仕舞ふといふ樣にもなります。又折角榮養分のあるものも調理法を誤ると、これを破壞することもございます。例へば果物を長時に出すにしても、これを煮ますと、ヴイタミンCが破壞されまして、折角の果物の效果を失つて仕舞ひます。又ヴイタミンBを含んでゐる豆類、魚肉類は、調理方法が榮養上大切な役目を致します。

△

次に、二、三の獻立に就きまして御紹介申上げます。食の獻立は季節、土地、年齡、性別、職業、收入、家族構成、種々な條件に支配されますので、万人向の獻立をつくることは殆んど不可能の事でございます。

榮養學の方面にも申すべきフオイト氏も「榮養價最良食を作ることは、廚師就をつくるのと同樣だ」と不可能なことを言つて居ります。でありますから此處に御紹介申上げるものに就ても、ほんの參考として、ただ獻立といふものは、所謂、ちやうちんに釣鐘といふ樣なもので、各自其土地、其家庭の事情を參酌して、御自作を御願ひする次第でございます。

△

實際の獻立を立る際の手引と致しまして、次の表を御參考までに

獻立

一、家族の構成

乳幼兒七人

内譯
- 老年（七）　主人（四〇）
- 主婦（三一）　長女（一二）
- 長男（八）　次男（五）　乳兒（一ヶ月未滿の甲兒を含む）

二、職業及收入（官吏、銀行會社、敎員等）收入月額

一ヶ月分の食費　月收の約三分の一（四個から約五個）

一日を食費に充てるものとする

内譯
- 老年（七）　一人分　一日　一五錢
- 主婦（三一）　一人分　一日　一五錢
- 長男（一四）　一人分　一日　二〇錢
- 大男（一四）　一人分　一日　二〇錢
- 乳兒（一ヶ月未滿の甲兒を含む）　一人分　一日　一〇錢
- 合計　一日　一〇〇錢

三、食費

一ヶ月分　一五四二十

一日分　五一四二十

（一圓（但し二三四二十八錢）十四錢（但し四十五錢）の差額が甲乙丙丁戊五階級の標準となつて居ります。）

四、獻立

（一ヶ月分）三一日

（一日分）一日　一五錢

（一日分）一日　一五錢

（一ヶ月分）三一日　十九錢

（一日分）一日　十六錢

（一ヶ月分）三一日　十五錢

（一日分）一日　十四錢

（一ヶ月分）三一日　十二錢

（一日分）一日　十一錢

（一ヶ月分）三一日　十錢

（一日分）一日　九錢

（一ヶ月分）三一日　八錢

（一日分）一日　七錢

（一ヶ月分）三一日　六錢

（一日分）一日　五錢

（一ヶ月分）三一日　四錢

（一日分）一日　三錢

（一ヶ月分）三一日　二錢

（一日分）一日　一錢

（一ヶ月分）三一日　一錢

（一日分）一日　一錢

（一ヶ月分）三一日　一錢

（一日分）一日　一錢

（一ヶ月分）三一日　一

國定忠次

（上回）

長谷川伸作
岩田專太郎畫

駈落屋敷（七）

友五郎は刑で顔を潰されず、石碑の一つが眺を損めて居たあたり、眼がぐらりと暗くなつたが、足を踏ばつた。血が目鼻の間でふくふく吹いてゐる。

「國定の忠次だ。どいつでも來い。」

気を励まして鉤縄十尺を、石碑が砕ける程叩つけて飛ぶ。打撃つて飛び身になつた友五郎は、石の様に固むかひ、恰度になつて深過した。眼は一瞬の間から上に真赤に染めてゐる。

「わあアー」

十手持の列が中から破れ、左右へ散縁の子分らに取つたまま即よりは一際高しく石段げになつた。

「國定の——忠次を知られんか」

疲れ声で叫びつけてゐる友五郎の元綿が血に染つた顔がかぎつてゐる。この世から消えなる死人色になつて暴れ狂つてゐるものの、徒らに存在在すうだけである。

裏の上の本間が、大安の間で高らかに、背のびまでして。

「國定村忠次郎。お縄にしてしまへ。」

「へい」

ふらふらに疲れてゐる友五郎は四九人に手取り足取り、押伏せられ、幕小手に縛られ、背中に渡を打せてゐる。

「うう——うう」

呻つてゐる、もう正躰ではない。本間が河原へおりてきて、友五郎を覗きこんに眺み。

「神妙を折らせやがる親だ。やい忠次、手間もうとは名を納つた男だ。だらしのねえ態をするない」

友五郎にはそれが聞えない、眼を閉りあげて呻るのみだ。

「今夜は田部非へ泊つて、あすの朝早く發つからな、怖作」

「へい」

「手間はさきに國定の詰められ女に二杯位はされやかつて、傷も和十郎も殺生を踏んだて、氣をつけやがれ。だが、忠次を縄にした手柄は手間のうてだ。許めてやるぜ」

「へい」

「そこで、手間は忠次を後から連れてこい。俺に行つて村の親等に御断りをさせるから。それから喜つて、忠次を養生しにこねえものでねえ。屋敷が何よりだ。皆のうちはあるして働けたが」

忠次ならの友五郎は、親分間取と村のものがいつてゐる、六年即から六尾の親分へ入れてある。

「夜中になつたらそッとここへ連れてこい、身柄はどこまでも、今までの処にあると見せかけてだ、判つたな」

「へえ、承知いたしました。さうさへ致して置けば、向ふ様の馬鹿野郎、現はれても、チツとも心配が要りません」

本間は腑りと安心とて、貫天な手落をしてゐるのに気付かない。

スキート・ピーの故郷はシチリヤ

春を描く

春生——その名に背かず、三月となれば、外界はめつき明るくなつて来ます、そして自然の眺はいろ〳〵と春の景物を織りなして、そこに數多の艶な絵巻の織りを繰ひろげます

× × ×

今わたくしどもは"春"と味はうために、ここに一つの題材を求めて見ませう——しかも、うら若い女性方のために、何か興味ゆたかにして重宝な題を——

× × ×

ポッカリ開いたスキートピー

フワリと咲いたスキートピー

お前のフワリとした姿赤ちやんの

御飯けの御手をつくりよ

外国の諺集を見ると、あのほんのりとした色合のふくよかなスキート・ピーの花を、赤ちやんの繍帯手にたとへて歌つてゐる句をよく見かけます、卵かな春の情上に、コツプに三本挿してゐ迫てまたいい感じのするスキート・ピーこれを題目にとつて見ませう

× × ×

スキート・ピーは學名ラテルスともまたの名を實蝶草ともいふ……秋の頃は蔓巻のころから花の咲くまで、今は蕾を開ます、濃青色の花が美しい姿を世界の隅々へまで送つてゐますが、いつたい、この花は何処から現はれて来たものでせう？　古いことはよくわかりませんが、原産地はシチリヤ島であると植物学者はいつてゐます

× × ×

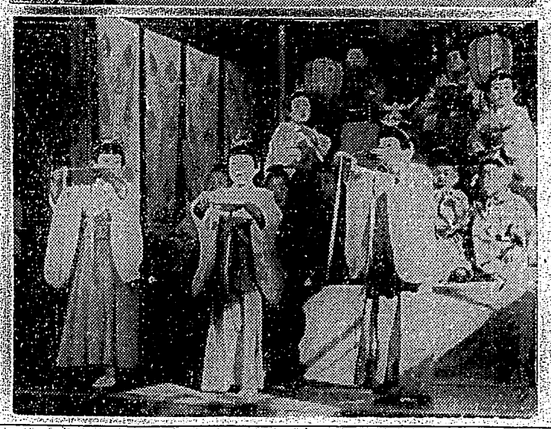
シチリヤ島といふのは、地図帳開いて見ると地中海にあるイタリー領の島、英語読みならばシシリーですが、之には女学生は外国語の教科書でもお馴染のことと思ひます、そのシチリヤ島が、スキート・ピーの本家本元だといふことです、メッシナ海峡を距て長靴半島と呼ばれるイタリー本国の南端に相対し、東隣には有名にエトナ火山があり、また真の沿岸には緑林地帯が続いてゐます、島の面積二万七三一五方粁人口はおよそ四百万位——かうした島、何時の世に生れ立つたスキート・ピーがヨーロッパ傳はつたのは十七世紀のことでありました

× × ×

なほ、詳しくいへば、フランスコ・カバニといふ人が、西暦一六九九年にオランダへ種子を持つて行つたのが歓喜の始めとされてゐます、尚ほなことには、それから八年経つて西暦一七〇七年に、印度のセイロン島で、緑と、赤とのスキート・ピーが發見されましたが、植物学者の喜びはこのセイロン産のものは、シチリヤから種子が渡つて行つたのであらうといふことです

× × ×

〝スキート・ピー〟といふ名が英国の植木屋さんのカタログに現はれたのは西暦一七三〇年以後のことで、その色合は十八世紀の終りまでは花の色はたつた五種——即ちいひ忘れましたがシチリヤ島で發見されたものは、白い花が主なやうでした、処で、その五種の花の色といふのは、緑、赤、白、薄紅、海老茶色で、更に、白と赤との斑咲りに、〝髪つる斑



生きたお雛様の雛祭

桃の節句の景象に添ふ様に、幼稚園では園児がお雛様になつて心から祝つたといふ事だ、寫眞は上は鳳凰山方面、みんな揃つて嬉しそうな顔

北支映畫視察團歸る

映畫による日支親善を目指して日本映畫界の北支進出調査のため過日渡支した大日本活動寫眞協會常務理事桑野通夫氏及び那須支社長一行は北京、天津を中心に一般商工、大同炭の現地、石門の戰跡、日本領北支進出の基礎的諸機関の調査をへて二日關門着、直ちに國際聯盟協會の日本代表部へ入り、引つゞいて二日關門商業會議所、同商工會議所、關門日日新聞社、關門日報社、關門毎日新聞社、關門貿易協會、關門商工會議所、關門實業家有志等の歓迎會を開き、その席上桑野氏より北支の實情を報告、懇談した後、六日關門發、七日午後一時半大阪着、直ちに大阪朝日新聞社に立寄り、北支方面の一般大衆娯楽映畫に就き意見を交換した後、同社樓上映畫室に於て、同社撮影の北支事變ニュース映畫を觀覽、午後六時半大阪發、八日午前八時半東京着、直ちに日本映畫界の現狀に就き、各方面と懇談した後、午後六時半東京發、九日午前八時半大阪着、直ちに大阪朝日新聞社に立寄り、午後一時半大阪發、同六時半神戸着、直ちに神戸新聞社に立寄り、午後九時神戸發、十

臺灣日日新報 第一萬二千六百二十七號 昭和十三年三月九日（水曜日） 臺灣日日新報社 （一）

軍事費を可決
衆議院本會議 滿場一致で
公益は私益に優先
遞相が聲を大に應酬
八日の貴族院本會議

（考へてゐる、政府は不當時の決意をもつて戰時目的の遂行に邁進しなければならぬ

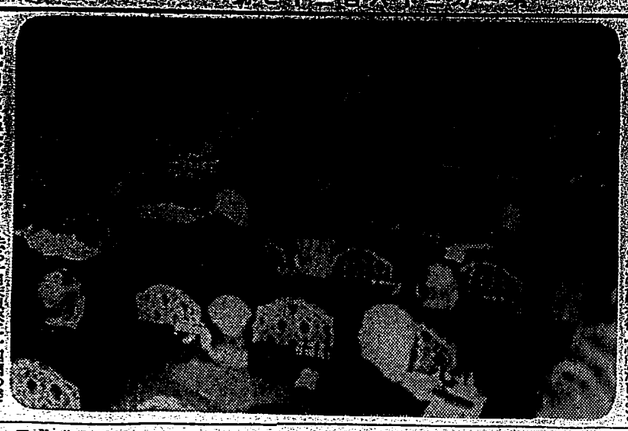
米窪滿亮氏（社大）出席狀態

人民に後顧の憂ひを與へることに重點を置かねばならぬ

椎尾辨匡氏（第一）近衛内閣は擧國を擧つてゐるからもつと力強く國民を指導する態勢が望ましい、重點を中心に國策を確

電力法案委員會

去る二月末以來、二十四回の委員會を開き、衆議院提出の電力法案に對し最大の論戰を續けて來た衆議院電力委員會は十日午前十一時二十分開會された（詳細は本紙號外參照）



社說
新新黨運動とその實現性
近衛公の擡頭如何が問題

一

各種の動機に依り、各種の形を目指す新黨結成の運動は、他に政界の何處かに存在してをり、それが時に表面に現れ來るのは、すでに數年來我國に於ける現象であつた。然してその新黨運動なるものは、時としては政界不振の原因を自己以外に求め、又た時としては政局の安定を目的として、現狀の缺陷なる點を指摘して、これが改革を高唱し、或は現狀打破を叫んで、新しき政治體制の樹立を主張するなど、その動機が政界の現狀に對する不滿に基くものであることは、何ほど分明でないが、それが時に應じて、或は現狀の缺陷を暗礁から明確に來るのを常としたそこに所謂新黨運動なるものの勃興の動機が在つたのであり、同時に、何れの形に依る新黨と雖も、一應は政界の現狀を否定するの形を採るのである。從つて今日の政界不安の聲が見られたのである。然しその度に、亞流首相を除く現内閣の閣僚諸公が、再三聲明せる如く、多少の關係を持つての新黨運動が擡頭し、政界へ一波紋を投じようと傳へられる。

二

今度の新黨運動が、"各種の動機"と"各種の形"のものとの、前者に入るべきものであるかは、

臺灣米の專賣
拓相が重大示唆
總動員法案委員會

松本氏（修正に際しやや其の意を盡さざる點があつたが、この點に關し當局の意嚮如何）

河野一郎氏（政友）

瀧企畫院總裁（內閣總理大臣）

藤本捨助氏（第一）

有馬農相（現在の計畫で國家總動員の綱に沿つて行けば大丈夫と考へてゐる）

河野氏（總動員法案を審議したい）

大谷拓相（總動員法案審議の順序は豫算の米の問題が早く、豫算の上から最大關聯であるから關係各省との間に十分協議の上、

永井遞相
日本鐵道經營の起死回生策に關し

既存法律に優先
午後の總動員法案委員會

作田氏（勅令内容に明記しない限り重要に名を藉りて濫手なことをされて國民は何も當へず第五條は空文となるが如何）

陸相（勅令の目的を十分達成するために）

瀧總裁（國家總動員法は總て國務に關するものを規定したのであつて個に關するものはない）

作田氏（本法に依つて設せられた勅令の施行に關しては大藏大臣の同意を要するか）

瀧總裁（原則として同意を要する）

作田氏（勅令と既存の法律との關係如何）

船田法制局長官（戰爭の規模其他に依つて決せられるが總て他の法律に優先するものと考へる）

作田氏（本法に依つて設せられた勅令が既存の法律を變更や廢止する場合は國務大臣の輔弼責任はどうか）

瀧總裁（國務大臣の輔弼責任は勿論である）

作田氏（勅令内容に明記しない限り重要に名を藉りて濫手なことをされては國民は何も當へず第五條は空文となるが如何）

陸相（勅令の目的を十分達成するために）

瀧總裁（國家總動員法は總て國務に關するものを規定したのであつて個に關するものはない）

作田氏（本法に依つて設せられた勅令が既存の法律を變更や廢止する場合は國務大臣の輔弼責任はどうか）

瀧總裁（國務大臣の輔弼責任は勿論である）

山脇陸軍省整備局長（用兵作戰は國防より之れに關聯するものを含む）

瀧總裁（軍機軍令を除き國家總動員法を以て律する）

作田氏（軍機軍令とは統帥權に關係ある事項を指すか）

瀧總裁（例をもつて言へば軍機の統帥權に關係ある事項を指すのである）

大谷拓相（總動員法案審議の順序は豫算の米の問題が早く、豫算の上から最大關聯であるから關係各省との間に十分協議の上、

臺灣米の專賣
拓相が重大示唆
總動員法案委員會

松本氏（修正に際しやや其の意を盡さざる點があつたが、この點に關し當局の意嚮如何）

河野一郎氏（政友）

瀧企畫院總裁（內閣總理大臣）

藤本捨助氏（第一）

有馬農相（現在の計畫で國家總動員の綱に沿つて行けば大丈夫と考へてゐる）

河野氏（總動員法案を審議したい）

大谷拓相（總動員法案審議の順序は豫算の米の問題が早く、豫算の上から最大關聯であるから關係各省との間に十分協議の上、

永井遞相
日本鐵道經營の起死回生策に關し

既存法律に優先
午後の總動員法案委員會

作田氏（本法に依つて設せられた勅令が既存の法律を變更や廢止する場合は國務大臣の輔弼責任はどうか）

瀧總裁（國務大臣の輔弼責任は勿論である）

作田氏（勅令内容に明記しない限り重要に名を藉りて濫手なことをされては國民は何も當へず第五條は空文となるが如何）

陸相（勅令の目的を十分達成するために）

瀧總裁（國家總動員法は總て國務に關するものを規定したのであつて個に關するものはない）

作田氏（本法に依つて設せられた勅令が既存の法律を變更や廢止する場合は國務大臣の輔弼責任はどうか）

瀧總裁（國務大臣の輔弼責任は勿論である）

山脇陸軍省整備局長（用兵作戰は國防より之れに關聯するものを含む）

瀧總裁（軍機軍令を除き國家總動員法を以て律する）

作田氏（軍機軍令とは統帥權に關係ある事項を指すか）

瀧總裁（例をもつて言へば軍機の統帥權に關係ある事項を指すのである）

大谷拓相（總動員法案審議の順序は豫算の米の問題が早く、豫算の上から最大關聯であるから關係各省との間に十分協議の上、

官吏制度改正案
近く樞府御諮詢奏請の手續き
船田長官が委員會に於て言明

委員に附託
質疑を終つて
原口初太郎氏（民政）

公益は私益に優先
遞相が聲を大に應酬
八日の貴族院本會議

支那の借款は絶望
上海金融業者の觀測

一群島の歸屬
意見は一致
英米兩國の間に

極東問題には言及しない
外相と伊大使懇談

英伊會談
來週早々開く

天然ガスの液化を研究
赤岡長官說明

日ソ紛爭は起るまい
駐ソ大使森が談話を發表

けふの兩院
貴族院
衆議院

日本生命

本店　大阪市東區今橋四丁目
臺北支店　臺北市本町三丁目

契約高　二十五億三千餘萬圓
資産　四億八千餘萬圓
（昭和十三年一月末）

社業の進展愈々活潑なり

今日の重大時局に處する國民の覺悟として、家庭生活の安定を計り銃後の守りを全からしむる生命保險の御需要が、近來ますます增加して參りました。

大きくて確かな會社として、社會の信用厚き日本生命に於ては昨年中五億三千七百餘萬圓といふ驚異的の新契約を得、同年末を以て保有契約高は二十五億圓を超えました。社業の進展狀況は愈々活潑であります。

更に昨年に於ては一層合理的且能率的な經營を行ひましたので資産運用利廻の向上、事業費率の低下等前年にまさる優秀な收支を見ました。資産の內容は既に定評の存するとほりいよいよ堅實、社業の基礎は磐石の如く鞏固であります。

日本生命は保險報國を念願とし國策に順應して國家のため又御契約者のため奉仕の萬全を期して居ります。生命保險の御加入には先づ日本生命を御選び下さい。

（營業案內願ふ）

國策事業の爲に
輪作の徹底を望む

糖業者が諸に依存する理由

（中）

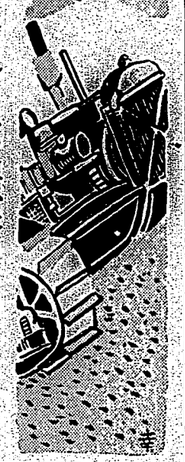
槇鹽糖社長談

無水酒精の原料に甘藷を利用したら如何だといふ意見もあるやうだが之は實際に於ては容易に出來ない事である、其の第一は甘藷一甲歩から二十二石の無水酒精が出來るとして同十万石を製造するには三十萬甲の甘藷を植ゑなければならぬ、此の

蔗園を

一甲歩に植ゑるには甘藷なれば甘藷一二万斤として二千七百斤、甘藷一甲二分として四十五万斤の收穫がとれ即ち甘藷二作とすれば約九百萬甲歩の甘藷を植ゑなければならぬ、之れは現在甘藷栽培十二万斤の二倍とれる様に作るとしても尚ほ四百五十萬甲歩の甘藷を植ゑなければならぬ、之れは現在甘藷栽培面積の三倍半に當る、之れは實際に於ては出來ない事である、と云ふの

科学



メートル法禮讃（上）

我が臺灣はあくまで本法を守り、範を內地に垂れよ

中澤亮治

我國では大正十年に、度量衡を統一して「メートル」法を使用すべしと云ふ事に法律で定まり、鉄道省關係省は總て「メートル」法を實施して居り、又教育も小学教育に於ては之を教へ二十二歳までのものは既に「メートル」法のみにより教育せられて居るのである。

斯くに近時、「メートル」法反對の聲を起げたものがある、其主張する處は「メートル」法の為めに「各家庭の不和」を招き、又「国家敗亡の原因」となり、衆議院の一部の議員、商工會議所の關係者等の數多大の「陳情書」を理由として「度量衡法改正案」が出來たのである

×

「メートル」法は單に「長さ」「重さ」「容積」竝びに「價格」の關係で決定して居て使ふのに實に便利であるので、英國に於ても、獨逸に於ても、佛國に於ても、伊太利に於ても、其他世界の文明國は皆「メートル」法を採用して居る。獨り我が臺灣に於てのみ「メートル」法を採用すると云ふ事は、「メートル」原器を入手したのであって大正十年に至って門外漢で「メートル」法採用と云ふ事になったのである

×

「メートル」法は單に「長さ」「重さ」「容積」竝びに「價格」の關係で決定して居て使ふのに實に便利であるので、英國に於ても、獨逸に於ても、佛國に於ても、伊太利に於ても、其他世界の文明國は皆「メートル」法を採用して居るのである。又「國家敗亡の原因」となり、衆議院の一部の議員、商工會議所の關係者等の數多大の「陳情書」を理由として「度量衡法改正案」が出來た